

# 尾鈴山

—— おすずやま ——

2025年 南九州大学同窓会通信



@NANKYUDAI\_ALUMNI

同窓会 Instagram  
登録をお願いします！



## ご挨拶

南九州大学同窓会第15代会長 中村 幹雄 (45L)



寒冷の候 南九州大学同窓会の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび南九州大学同窓会長を拝命しました中村幹雄でございます。50年余の歴史を

誇る本同窓会のかじ取りを仰せつかり、浅学非才の私としては、身の引き締まる思いと大きな責任を感じているところでもあります。

本同窓会は、「会員相互の親睦を図り、併せて大学の発展に寄与する」を目的として、多くの同窓生に支えられ継続的に活動して参りました。先人が築いてこられた大切な礎を今後もしっかりと守り、さらなる発展へと導いていく所存であります。

昨今、社会経済情勢や人々のライフスタイルの変化に伴い、同窓会や大学の在り方も多様化しており極めて厳しい状況が続いています。

同窓会として早急に実施すべき課題は、各県支部を早期に立上げ、県支部が中心となって大学のPRや入学者の推薦等を行う等、大学の窮状を救うことが重要かつ急

務であり、その担当役員の任命と予算を確保します。

一方で、地方の私立大学の入学者減少は、少子化に伴う構造的な問題ではありますが、行政からの支援、即ち都城市・宮崎市、さらには宮崎県に対し支援策を要請する等々。大学と調整しながら共に行動して行きたいと考えています。この対応に備え、行政経験が豊富な方に副会長や役員として加わって頂くとともに、同窓会の経緯や制度に詳しく知見がある方にアドバイザーとして着任をお願いする予定であります。

今一度、本会の目的を振り返りますと「大学の発展に寄与する」とある中で、現状は？同窓会は「今、何をすべきか」が問われています。

同窓会及び大学は、発展どころか現状維持すら困難な中、私は、この喫緊の課題に対応するため粉骨砕身の覚悟で会長職を努めて参る所存であります。どうか同窓会の皆様、共に力を結集してこの窮状を打破するための熟考を重ね行動を起こし、明るい未来を創造しましょう。

結びになりますが、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、同窓会と大学に一層のご支援・ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とします。

## ご挨拶

南九州大学学長 中瀬 昌之



南九州大学同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本学ならびに南九州学園の運営に深いご理解と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。後輩学生を常に励まし、

同窓会による学生支援事業をはじめ、多方面で力添えを頂いておりますことに重ねて感謝申し上げます。

令和7年7月12日には宮崎キャンパスにて同窓会総会・役員会が開催され、続いて大学側より近況報告を行いました。夜には役員の皆様と教職員との懇親会が行われ、大学教育への期待や課題について活発な意見交換を行うことができました。さらに、8月19日には同窓会役員と教職員のオンライン意見交換会も実施し、同窓生の立場から見た本学への貴重なご提言を頂戴いたしました。

さて、教学面では令和4年度より取り組んでいる文部科学省事業「地域活性化人材育成事業（SPARC）」が、令和7年度から本学の教育プログラムとして本格的に稼働しております。また、県内大学が連携する「高等教育コンソーシアム宮崎」が大学等連携推進法人として認定され、他大学との連携開設科目を本学学生が履修し単位

を取得できる制度も整いました。これにより、本学の理念である「食・緑・人」に基づく実学教育に加え、分野横断的な学びの機会が拡大し、学生の専門性を深める環境が着実に広がっています。

都城キャンパスでは、都城市が主体となる「学びの多様化学校」が本学敷地内に設置されることになりました。これまで子ども教育学科の学生たちが「青空ラボ」で不登校児童生徒の支援に取り組んできた実績が評価され、全国的にも先駆的な「大学キャンパス内の学校設置」へと発展したものです。本学が地域の子ども・若者を支える役割は、一層重要なものとなっています。

加えて、課外活動ではレスリング部が全国大会で上位入賞を果たすなど、目覚ましい成果を挙げています。学生たちの努力と成長は本学の誇りであり、在学生にも大きな励みを与えています。

本学はこれからも地方大学としての使命を果たし、社会で活躍できる人材の育成に全力で取り組んでまいります。今後とも同窓会の皆様の温かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、中村会長のもと、南九州大学同窓会が益々ご発展されますことを心より祈念いたします。

## 「学部学生支援事業」の報告

同窓会の存在と活動内容について、在学生や教職員の皆様にもっと知ってもらうことや、学習・研究活動に積極的な学生への経済的な負担軽減などをはかるために、学部の学生を対象とした支援事業活動を行っています。9回目の募集となる令和6年度は6件の申請がありました。審査の結果、下記6件の合計30万円の支援をいたしました。

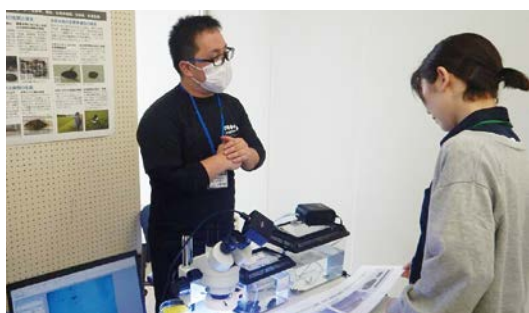
### 動物生態学研究室

#### 環境園芸学科4年 和田 健汰

研究あるいは技術開発等「国際学術誌への英文寄稿のための英文校閲」

和田健汰さんの卒業研究の成果が、国際誌「Limnology」のResearch reportsとして掲載されました。

論文タイトル: In vitro study on the parasitism of larval freshwater mussel (Bivalvia: Unionida) on Japanese newt  
著者: Kenta Wada, Masaki Takagi, Mitsunori Nakano  
DOI: 10.1007/s10201-025-00811-x



#### 研究の背景と成果

淡水に生息するイシガイ目二枚貝の幼生は、魚類や両生類に寄生しなければ生き延びることができません。相性の良い宿主に寄生できた幼生だけが生存し、稚貝へと変態します。

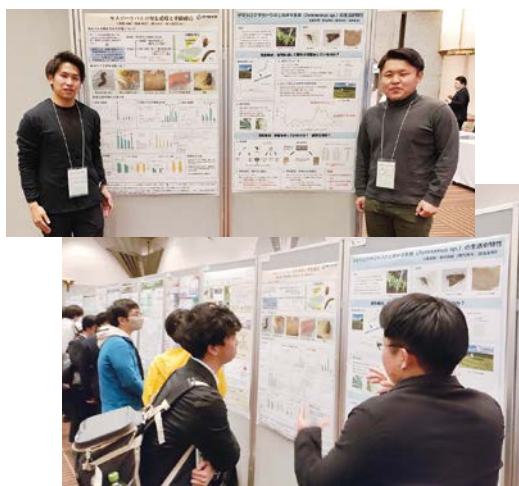
これまで、イシガイ目と魚類の関係は多くの研究によって解明が進んでいますが、両生類との関係は十分に分かっていません。特に「どの二枚貝がどの両生類を宿主とできるのか」は大きな謎として残っていました。

今回の研究では、ドブガイ属の幼生が日本固有種のニホンイモリ（アカハライモリ）に寄生し、稚貝へと変態することを初めて確認しました。これは、イモリ科の両生類がイシガイ目の宿主になり得ることを実証した世界で2例目の成果です。1例目は北米に生息するブチイモリとの関係で、本研究は日本産イシガイ目が両生類に寄生できることを示した貴重な事例となりました。

### 昆虫学研究室

#### 環境園芸学科4年 小森 崇聖

学会誌・論文誌・投稿・発表  
「第69回日本応用動物昆虫学会での成果発表」



### 庭園デザイン研究室

#### 環境園芸学科3年 河口 寛幸

課外活動  
「令和6年度造園学会九州支部福岡大会〈学生交流企画〉参加発表」

### 栄養教育論研究室

#### 管理栄養学科4年 杉尾 友香

卒業研究・制作等  
「都城市民対象〈地産地消で健康フェア〉事業結果に基づく栄養教育教材の開発」

### 庭園デザイン研究室

#### 環境園芸学科4年 泉 愛華音

学会誌・論文誌・投稿・発表  
「令和6年度の本造園学会九州支部福岡大会〈研究事例報告会〉での研究発表」



### 都市景観研究室

#### 環境園芸学科4年 福島 和弥

卒業研究・制作等  
「マスメディアが絡む実物大モニュメントの研究調査」



## 卒業生紹介コーナー

### 03/ 金井 良一さん Ryoichi Kanai



#### Q1. 南九州大学を選んだ理由

当時入りやすく造園専門大学に興味を持ったため。

#### Q2. 学生時代の話について

農家の一軒家をかりて4人で共同生活していました。時給自足生活でした。

大学では日本庭園研究会に所属し各地の庭園建学調査をし、その経験が今に生きています。

#### Q3. 卒業後の進路について

横浜市の好況造園会社に入社し、その後、平成3年40才の時に独立してプレースケープを設立しました。

有限会社プレースケープ 取締役  
南九州大学非常勤講師  
S45年造園学科入学

#### Q4. 自己紹介

テレビチャンピオンにて4連覇殿堂入りしました。

番組スタッフが立ち上げた劇的ビフォーアフターに庭の匠として出演しました。

その後16回出場し、匠の中では最多出場となりました。匠の中では唯一現場にて施工をする内容なのでユージさんをはじめ色々なタレントさんと庭を作ってきました。

日本でも岩手から鹿児島まで場所は様々ですがドイツ・南フランスと海外ロケも経験させていただきました。特に今回の南仏の現場は、私がかつてから提案してきましたブリコラージュという考え方のルーツな気がしました。

## 令和7年度学生とOBとの交流会の開催

11月8日（土）10時より、宮崎キャンパスのひなた館coPANcafeにて学生とOBとの交流会が開催されました。交流会では、大学祭支援金を各キャンパスに贈呈しました。また学生生活の不便などについて聴取しました。その後、福岡県支部長の岩熊氏より、卒業後の同窓会との新たなかかわり方についてプレゼンテーション後、特別講演も開催されました。



## 各支部・ブロック・OB会の報告

南九州大学同窓会では、同窓会や交流会を開催された場合、10名以上から支援金をお渡ししております。  
詳細につきましては事務局までお問い合わせください。

### 福岡支部交流会開催

令和7年10月11日(土) 13:30より福岡支部の交流会を開催しました。参加者は15名で支部長挨拶の後、支部の活動報告や大学のトピックス(近況)紹介、自己紹介等を行いました。今年は話題提供として大串氏による発表「虫を通じて樹木を覚える」や福岡県内で造園系学科のある久留米筑水高校:中村氏、福岡農業高校:川上氏、行橋高校:藤井氏より各校の状況説明がありました。話題提供に対しては、参加者から色々な質問や意見が出され、造園系の現役技術者による高校生への授業支援や情報提供など、同窓生相互の交流活動拡大に繋がりそうな話で盛り上がりました。

(福岡支部 事務局長 村武 賢治)



### 東海ブロック同窓会の開催

令和7年8月30日(土) 東海ブロックの同窓会を開催いたしました。西谷直樹(09H)さんが、ブロック長になりました。初めてご参加いただいた方もいて今回も楽しい会となりました。今回参加ができなかった方など次回の参加をお待ちしております。

(東海ブロック 小野 由紀子)



### 子ども教育学科1期生(H22年入学) 同窓会の開催



令和7年8月11日(月) ホテルテラスにて1期生の同窓会を開催しました。

(H22年入学 宮崎県 菅原 幸一)

### 富山県支部同窓会の開催

令和7年11月15日(土)に富山県支部同窓会を開催しました。今回が2回目の開催となり、初参加の方もおられました。大学に在籍した年代は違いますが、大学時代の思い出や大学の将来について語り合い大変実りのある同窓会となりました。これからも同窓会を通じて母校の発展に寄与していきたいと思います。来年も開催しますので富山県内の方のご参加をお待ちしております。(富山県支部長 島田 幸吉)



### 造園学科・園芸学科・緑地工学コース9期生(昭和50年入学)



南九州大学五十年会 2025年(令和7年)7月25日 於:都城グリーンホテル

昭和50年入学生は約300人でした。今回の同窓会の目標は、厳しい大学を応援したい!そんな気持ちで始まり2年前に鳥取で事務局を立ち上げ、昨年広島において8人で本事務局とし計画を実行。まずはLINE仲間を増やしながら参加者を集めましたが、当日近くになると年齢的にドタキャンもあり。しかし、大学と同窓会の応援をいただき無事に開催できました。北は秋田から南は沖縄までよく集まってくれました。会えば45年の月日は関係なく43人で楽しく一夜を過ごしました。

(S50年入学 福岡県 藤井 安寿)





# 会計報告

## 令和6年度 収支決算報告書

(1) 収入の部 自令和6年4月1日 至令和7年3月31日 (単位: 円)

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B - A)	摘 要
1 会費収入	4,080,000	4,020,000	-60,000	
①正会員	40,000	0	-40,000	
②準会員 (1～4年)	40,000	0	-40,000	
③準会員 (R6入学生)	4,000,000	4,020,000	20,000	大学委託徴収201名 (R6年5月2日の振り込み)
2 広告代・寄付 (祝金)	10,000	0	-10,000	
3 事業収入	10,000	0	-10,000	
①名簿販売	4,000	0	-4,000	
②その他	6,000	0	-6,000	
4 雑収入 (利子他)	1,000	118,272	117,272	普通預金利子・交流会会費・大学祭出店収入
5 基 金	0	0	0	
小 計	4,101,000	4,138,272	37,272	
6 前年度繰越金	2,377,597	2,377,597	0	
合 計	6,478,597	6,515,869	37,272	

### (2) 支出の部

項目	費 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
1 管理費	管理費合計	2,330,000	1,784,715	-545,285	
	1 人件費 (A)	1,000,000	699,451	-300,549	事務局職員・労働保険料
	2 人件費 (B)	60,000	0	-60,000	本部役員活動費
	3 会議費 (A)	50,000	0	-50,000	本部役員会
	4 会議費 (B)	200,000	205,578	5,578	総会・全国役員会・懇親会会場費等
	5 交際費	50,000	48,262	-1,738	入学式・卒業式生花代等
	6 需用費	970,000	831,424	-138,576	
	① 旅費・交通費 (A)	80,000	83,470	3,470	本部役員交通費
	② 旅費・交通費 (B)	600,000	521,000	-79,000	総会に関する役員・代議員等交通費
	③ 備品費	100,000	97,900	-2,100	事務局パソコン購入
2 事業費	④ 消耗品費	30,000	6,854	-23,146	事務用品等
	⑤ 通信費	20,000	22,016	2,016	
	⑥ 慶弔費	30,000	0	-30,000	
	⑦ 手数料	10,000	7,784	-2,216	払込手数料
	⑧ HP維持管理費	100,000	92,400	-7,600	
	⑨ その他	0	0	0	
	事業費合計	3,250,000	3,150,324	-99,676	
	1 会報作成費	1,000,000	1,111,275	111,275	同窓会会報 (発送費含む)
	2 卒業記念品	450,000	378,000	-72,000	卒業記念品 (182名カード型USB)
	3 大学祭等支援金	300,000	300,000	0	大学祭 (宮崎・都城キャンパス)
3 組織活性化費	4 同期会補助金	50,000	40,000	-10,000	空手道部OB会、44H同窓会
	5 学部学生支援金	300,000	300,000	0	学生論文等研究支援金
	6 寄贈品費	50,000	0	-50,000	
	7 交流会費	100,000	25,769	-74,231	学生とOBとの交流会等
	8 50周年記念事業費	1,000,000	995,280	-4,720	50周年記念誌発行
	9 ブロック補助・県支部発足等助成・大学祭出店費用等	700,000	107,261	-592,739	
	予備費	198,597	0	-198,597	
	合 計	6,478,597	5,042,300	-1,436,297	

※繰越金 収入: 6,515,869円 - 支出: 5,042,300円 = 1,473,569円を次年度繰越金とする。

### (3) 現預金内訳

項 目	内 訳	金 額	摘 要
ゆうちょ銀行 (会費通帳)	会費等振込用	556,334	同窓会会費振込用口座 (個別用)
ゆうちょ銀行 (普通預金)	活動用普通預金	19,887	
宮崎銀行 (普通預金)	活動用普通預金	869,420	大学からの振込用通帳
現金 (事務局)	本部事務局保管	27,928	
合 計		1,473,569	

### (4) 令和6年度 南九州大学同窓会 特別会計 (積立基金)

項 目	令和5年度	令和6年度	摘 要
一万城郵便局 (定額預金)	7,585,650	7,590,358	累積利子 71,110円含む
合 計	7,585,650	7,590,358	

## 令和7年度 収支予算計画書

(1) 収入の部 自令和7年4月1日 至令和8年3月31日 (単位: 円)

項 目	6年度予算額 (A)	6年度決算額 (B)	7年度予算額 (C)	増減 (C - A)	摘 要
1 会費収入	4,080,000	4,020,000	4,040,000	-40,000	
①正会員 (卒業生)	40,000	0	40,000	0	2名
②準会員 (2～4年)	40,000	0	0	-40,000	※項目削除予定
③準会員 (新入生)	4,000,000	4,020,000	4,000,000	0	198名
2 広告代・寄付	10,000	0	10,000	0	
3 事業収入	10,000	0	6,000	-4,000	
①名簿販売	4,000	0	0	-4,000	※項目削除予定
②その他	6,000	0	0	-6,000	※項目削除予定
4 雑収入 (利子)	1,000	118,272	1,000	0	普通預金利子・大学祭出店収入・交流会会費
5 基 金	0	0	0	0	
小 計	4,101,000	4,138,272	4,057,000	-44,000	
6 前年度繰越金	2,377,597	2,377,597	1,473,569	-904,028	繰越金
合 計	6,478,597	6,515,869	5,530,569	-948,028	

### (2) 支出の部

項目	費 目	6年度予算額	6年度決算額	7年度予算額	増 減	摘 要
1 管理費	管理費合計	2,330,000	1,784,715	2,270,000	-60,000	
	1 人件費 (A)	1,000,000	699,451	1,000,000	0	労働保険料・事務局職員
	2 人件費 (B)	60,000	0	0	-60,000	役員手当等 ※項目削除予定
	3 会議費 (A)	50,000	0	50,000	0	本部役員会
	4 会議費 (B)	200,000	205,578	200,000	0	総会・全国役員会・懇親会会場費等
	5 交際費	50,000	48,262	50,000	0	入学式・卒業式生花代等
	6 需用費	970,000	831,424	970,000	0	
	① 旅費・交通費 (A)	80,000	83,470	80,000	0	本部役員・事務局職員等交通費
	② 旅費・交通費 (B)	600,000	521,000	600,000	0	総会に関する役員・代議員等交通費補助
	③ 備品費	100,000	97,900	100,000	0	プリンター・機購入予定
2 事業費	④ 消耗品費	30,000	6,854	30,000	0	
	⑤ 通信費	20,000	22,016	20,000	0	
	⑥ 慶弔費	30,000	0	30,000	0	
	⑦ 手数料	10,000	7,784	10,000	0	払込手数料
	⑧ HP維持管理費	100,000	92,400	100,000	0	小野高速印刷
	⑨ その他	0	0	0	0	
	事業費合計	3,250,000	3,150,324	2,370,000	-880,000	
	1 会報作成費	1,000,000	1,111,275	1,120,000	120,000	同窓会会報 (発送費含む)
	2 卒業記念品	450,000	378,000	450,000	0	卒業記念品代
	3 大学祭等支援金	300,000	300,000	300,000	0	都城C・宮崎C (各15万円)
3 組織活性化費	4 同期会補助金	50,000	40,000	50,000	0	
	5 学部学生支援金	300,000	300,000	300,000	0	学生論文等研究支援金
	6 寄贈品費	50,000	0	50,000	0	
	7 交流会費	100,000	25,769	100,000	0	学生とOBとの交流会等
	8 50周年記念事業準備費	1,000,000	995,280	0	-1,000,000	※項目削除予定
	9 ブロック補助・県支部発足等助成・大学祭出店費用等	700,000	107,261	700,000	0	
	予備費	198,597	0	190,569	-8,028	
	合 計	6,478,597	5,042,300	5,530,569	-948,028	



11月30日(日)きりしま祭にて今年も餅つき大会を開催しました!

## 令和7年度 南九州大学同窓会役員紹介

### 【同窓会役員】

役 職	氏 名	入学年	県 名
顧問兼事務局長	大井手健二	S44年L	宮崎県
会 長	中村 幹雄	S45年L	岐阜県 東海ブロック長兼務
副会長	長友 一弘	S58年H	宮崎県
幹 事	大木 一郎	S48年L	宮城県 東北ブロック長
	島田 幸吉	H5年A	富山県 富山県支部長
	田澤 重幸	S50年L	神奈川県 関東ブロック長
	山田 和正	S47年H	大阪府 関西ブロック長
	小田 智敏	H5年H	広島県 中国ブロック長
	三木 章宏	S53年L	徳島県 徳島県支部長
	岩熊 直樹	H15年L	福岡県 福岡県支部長
	儀武 剛	S55年H	沖縄県 沖縄県支部長
	松尾 巧	S44年L	大分県 大分県支部長
	中村 千恵	H15年L	宮崎県
	菅原 幸一	H22年子	宮崎県
	福富 博之	H12年A	宮崎県
	原口 直樹	H22年管	宮崎県
	池之上直也	H17年F	宮崎県
会 計	寺尾 美里	H17年H	宮崎県
監 査	平岡 直樹	S56年L	宮崎県
	海金 亮	H8年G	宮崎県

### 【代 議 員】

氏 名	入学年	県 名
藤田 修治	S43年L	埼玉県
金井 良一	S45年L	神奈川県
佐藤 耕作	S47年L	新潟県
西谷 直樹	H9年H	愛知県
小野由紀子	H9年L	愛知県
小泉 雅樹	H3年L	岐阜県
市川 清美	S43年L	三重県
谷本 慎吾	H11年L	広島県
岩野 宗敬	H7年L	鹿児島県
間世田明里	H8年G	鹿児島県
兄玉 清和	H16年L	宮崎県



## 「同窓会事務局からのお知らせ」

- 同窓会通信尾鈴山に同窓生の方からの寄稿を募集しております。本学在学中の思い出や皆様の近況、企業PRなどについて、自由なテーマで寄稿していただけます。原稿は同窓会本部事務局までメールもしくはインスタからお送りください。
- 同窓会では一緒に同窓会活動していただける方を募集しています！同窓会活動に興味のある方はぜひご連絡ください！

【活動に興味のある方は下記もしくは二次元コードからご回答ください！】

<https://forms.gle/36E4trZofFAG6UtP6>



二次元コード ▲



令和8（2026）年度 入学試験一覧

### 宮崎キャンパス

#### 管理栄養学科

人間性豊かで地域に貢献できる  
「管理栄養士」を育成

#### 食品開発科学科

フードシステム全体を科学的に  
見渡せる実践的な人材育成

【お問い合わせ】南九州大学 入試広報課



**0120-3739-20**

携帯・PHSからもご利用になれます。



### 都城キャンパス

#### 環境園芸学科

「園芸学」「造園学」「自然環境」の  
3つの分野を横断・融合型で学ぶ

#### 子ども教育学科

「教育」と「福祉」、次世代を担う  
子どもスペシャリストへ

入学定員・試験区分		環境園芸学部	人間発達学部	健康栄養学部	
		環境園芸学科	子ども教育学科	管理栄養学科	食品開発科学科
		110人	80人	60人	40人
学校推薦型選抜	I 期	45人	30人	25人	15人
	II 期	10人	10人	5人	5人
一般選抜	I 期	20人	15人	11人	5人
	II 期	5人	若 干 名		
総合型選抜	I 期	20人	10人	8人	10人
	II 期				
	III 期			若 干 名	
	IV 期				
	V 期			若 干 名	
共通テスト利用選抜	I 期	10人	15人	11人	5人
	II 期	若 干 名			
	III 期				
社会人選抜 帰国生徒選抜	I 期	若 干 名			
	II 期				

※学校推薦型選抜（II期）について、管理栄養学科は公募のみの募集です。  
※募集人員（若干名）は、一般選抜（I期）の募集人員に含みます。